

対象施設の名称	橋場老人福祉館
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
所管部課	福祉部 高齢福祉課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(①～④)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

① 事業の運営について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 事務室と利用者スペースとの一体的な施設レイアウトを活かし、利用者が必要なときに、職員に問い合わせしやすい環境を整えるなど、効果的な運営が行われている。
- 地域にあった事業のあり方を充分検討し、施設を活かす事業を実施された。
- 地域の高齢者との協力関係を築くことで、今まで培ってきた知識・経験・技能を活かしつつ、より充実した事業展開ができると思われる。

② 施設の維持管理について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 高層階にある施設のため、施設内の危険箇所及び非常口の場所などについて、利用者へ適切に案内できることが重要である。

③ 利用者の満足度について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 施設の移転もあり、利用者数が減少したことから、利用者数を増やすための取組みが望まれる。
- 利用対象者が、より広く参加できる方法を講じるが必要であり、例えば、近隣の人々、町会、団体、グループなどへの積極的なアピールなど、新規利用者の掘り起こしにも努められたい。

④ 歳入歳出について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 自主事業と委託事業の区分について不明確な部分が見受けられるので、委託料の支出方法について検討の余地があると思われる。

2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 団体の利用も多く、コミュニティづくりの核としても機能しており、多くの高齢者の癒しの場となっている。
- 清潔感のある広々とした施設になったので、それを活かした事業を行い、利用者数の増加を図りたい。

区への意見

委員のコメント

- 介護予防の効果という観点等、中長期的な視点で指定管理者の評価を行う方法も検討する必要がある。

※ 「委員のコメント」及び「区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

区による評価

平成 21 年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 橋場老人福祉館 指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・三筋老人福祉館
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円,歳出 2,433,180,998 円,収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円,歳出 380,680,744 円,収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区橋場 1 - 3 6 - 2
②設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。
③利用者	区内に住所を有する 6 0 歳以上の者及び 6 0 歳以上の者で組織する団体
④開館日・時間	月曜日から土曜日 午前 9 時から 1 7 時まで
⑤規模	延べ床面積 2 8 9 ㎡ 鉄筋コンクリート造地上 5 階のうち 4 階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など
⑥人員体制	常勤 1 名、非常勤 2 名

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、防災訓練 等
②自主事業	サロン事業（カラオケ、輪投げ教室等）

4. 施設の稼動状況等

◆施設利用実績（年間）

		男	女	計	月平均
19 年度	個人利用	18,951	14,519	33,470	2,789
	団体利用	2,090		2,090	174
20 年度	個人利用	12,528	12,784	25,312	2,109
	団体利用	1,586		1,586	132

◆健康づくり（介護予防）及びことぶき教室実績（年間）

	健康づくり（介護予防）		ことぶき教室	
	開催数	参加延人数	開催数	参加延人数
19 年度	74	1,621	79	1,677
20 年度	97	2,075	90	2,057

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		1 7 年度	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度
予 算	委 託 料	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	16,308,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	16,308,000
決 算	委 託 料	33,230,905	25,095,452	23,754,694	21,136,792	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	33,230,905	25,095,452	23,754,694	19,936,128	
	収 支	0	0	0	1,200,664	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22 年度)	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度
延利用者数	人	2 8, 2 0 0	3 5, 5 6 0	2 6, 8 9 8	
健康づくり・介護予防事業、 ことぶき教室参加者数	人	4, 0 0 0	3, 2 9 8	4, 1 3 2	

7. 評価項目		3 : 協定等の水準を上回っている。 2 : おおむね協定等の水準どおりである。 1 : 協定等の水準を下回っている。 — : 評価対象外項目	
評価の観点	評価	項目	
①事業の運営 平均 [2. 1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [3] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2. 0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2. 0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [2. 0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]	
8. 評価		A+ (良好) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善) : 協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。満足度調査とは別に新たにご意見箱を設置したことで、利用者の要望等を広く汲み取れるようになり、サービス水準の向上につながった。	
②施設の維持管理	A	日常的な清掃は職員で行っており、定期的な清掃は専門業者に委託するなど、効果的かつ適切な管理業務を行っている。業務内容については、作業報告書に記録するとともに、区の確認を受けており、適切な管理が行われている。	
③利用者の満足度	A	20年9月の今戸老人福祉館の閉館に伴い本施設へ移行し、入浴サービスの提供が無くなったが、21年度の個人利用者数は20年度に比べ増加傾向である。また、満足度調査とは別途ご意見箱を設置し、利用者の要望を汲み取る工夫を工夫した。	
④歳入歳出	A	予算については適切に執行されており、引き続き運営経費の縮減にも努める必要がある。	
⑤総合評価	A	施設の管理運営については、全体的に良好である。今後もより一層、利用者からの苦情・要望等を施設運営に反映させ、利用者満足度の高い施設を目指していく必要がある。	
9. 課題への対応等			
施設管理については適切に実施されており、満足度調査における利用者からの満足度も概ね高い。 今戸老人福祉館から橋場老人福祉館への機能移転後は、お風呂利用者の数がそのまま利用者数の減少につながったが、ことぶき教室等事業内容の充実により、お風呂利用者以外の個人利用者数は増加しており、地域に定着した施設となってきている。 今後も利用者からの高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、利用者数の増加を図りながら、老人福祉センターを中心施設として各館との連携及び一体的な事業運営を強化していく必要がある。			